

BBジャパンカップ 2026 (第78回全国理容競技大会)

第1・2・3部 共通要項

とき : 令和8年10月19日(月)
ところ : 西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)
(鹿児島県鹿児島市永吉1丁目30-1)

▶ 留意事項

- 刈布、タオルを持参
- 競技用スタンドクランプ、審査用テーブルクランプ持参
- 電気機器の容量は一人当たり1,000Wまでとする。
- 通信機能付腕時計は可。
- タイマーの使用は可（但し、音が鳴らないこと）。
- 衣装は上半身のみ着用

▶ 競技に関する禁止事項

- 未消毒の道具の使用や、モデルの髪に息を吹きかける
- タオル、刈布をつけていない
- スタンドクランプで競技を行っていない
- マネキンを逆さにして振るなどの通常人間モデルで行わない行為
- 審査用スタンドクランプにウィッグを取り付け終了表示をしない
- 競技終了後、1分内で衣装装着しない

各部門共通 Q & A

- アテンションカードを渡された選手は
監視委員に申告し、アテンションの指示通りにカットすれば
減点なし
- 各部門、メイク可能。
(メガネは、第1部門・第3部門は不可。第2部門は可。)
- カット時間内のドライヤーは不可。
スタイリング時間内のドライカットは可能。
- 審査用のテーブルクランプに移動してからの施術は禁止です。
但し、競技時間内であれば、移動にともなう手直しは可能です。
また、早めに移動させた場合、衣装にタオル、刈布を巻いてお
けば競技時間内と見なされるので施術も可能です。

各部門共通 Q & A

- 刈布は、**通常使用するモノ**を使用。
カットしたモノ、シャンプークロス、カラークロスは不可。
- ドライヤーの容量は、**1000W**まで使用可能。
- 競技終了後、**1分間の衣装着用時間**が設けられます。
(第4部門のみ2分間)
- マネキンに着せる衣装は、**上半身のみ**。

モデル審査（ウィック） 運営基準の標準化

目的

モデル審査における判断のブレを防ぐ
同一基準・同一手順による公平な審査運営

モデル審査（ドライ審査）

- ・ウィッグは「洗髪後・乾燥状態」で持参
- ・審査は乾燥状態（ドライ）から開始
- ・衣装は付けずにモデル審査を受ける
（ヘアピース部門はヘアピースを装着した状態でモデル審査

①初期チェック

- ・ヘアアクセサリー・付け毛の有無
- ・頭皮マーキング・装飾の有無
- ・種目によっては、カラー以外の薬剤・パーマ・アイロン痕・
薬剤臭の確認により判断
- ・マネキン性別指定（メンズ／レディース）

初期チェック詳細（カット条件）

② ブラント状態の確認

（フロント／トップ／クラウン／ネープ）を様々な角度で引き出し、ブラント状であるか確認する。

③ 3 cm以上カット可能か確認

- ・ 刈り込み予定箇所が 3 cm未満は減点
- ・ 意図的な根梳きがある場合は規定長さ不足として減点
- ・ スライドカットや細かいディスコネも減点対象となる

ドライ審査：事前カット

- 審査委員長の指示で1箇所実施
- フロント／トップ／クラウンのいずれか
- 1 cm × 2 cmの長方形領域
- 3 cmカット
- 全ウィッグ同一条件で実施

ウェット化手順（標準フロー）

- 地元協力実行委員が担当
- 約20cmの距離から噴霧
- 5箇所（フロント／トップ／両サイド／バック）
- 各3回、合計15回
- 別担当がスケルトンブラシによるコーミングとタオルによる拭き取りを行う。

毛先・デザインに対しての考え方

- 多角的に引き出してブラント確認
- ドライ審査で毛先の梳きすぎは原則減点しない
- 根梳き、質感カットは減点対象
- ディスコネスタイル／クリエイティブ作品は慎重に判断

ブランク状の確認



下に引き出すとブランク状態が確認出来るが、上に引き出すとブランク状が確認できない。クリエイティブな作品の場合、モデル審査員はウィッグのデザインからブランク状態を確認できる位置を探す必要がある。

セニング過多の対応

ブラント確認不可の場合、
ブラント状態が確認できるであろう
位置から3cmカットするように、
アテンションカードで
追加指示をおこなう。

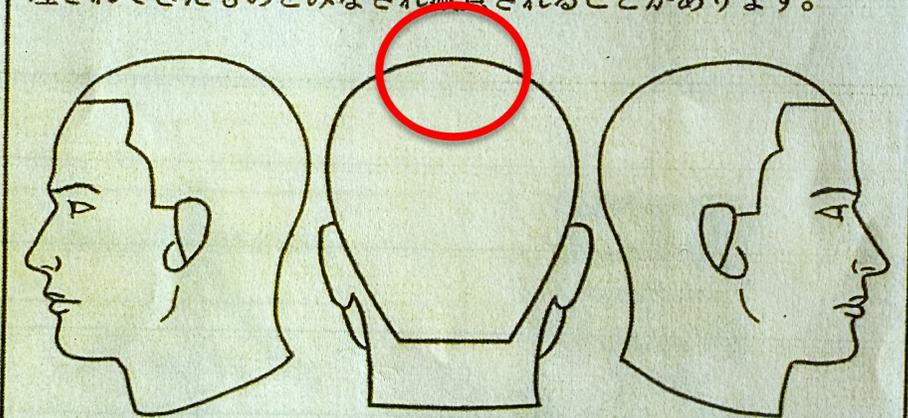
【第3部門】

(選手用)

モデル審査・アテンションカード

椅子番号 18

モデル審査の結果、貴殿のモデルは下記の○印が短いと思われます。競技中、その箇所のカットがなされない場合、事前処理されてきたものとみなされ減点されることがあります。



フロント

トップ ブラント状態が未確認のため4cmカット

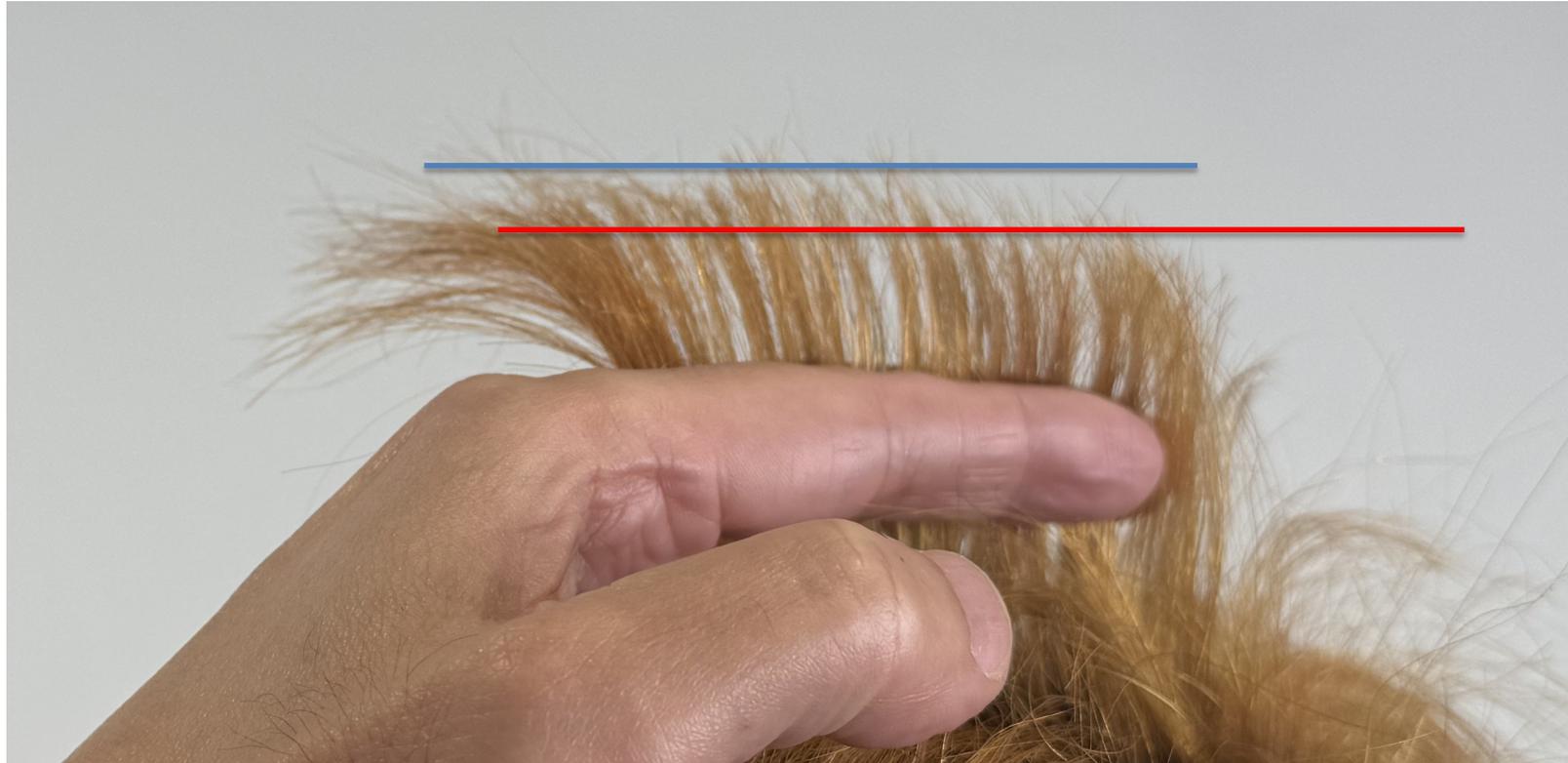
ネーブ

サイド

バック

(審査委員名：)

ブランク状態の確認



青のラインでブランク状態が確認できないため、
1センチ下の**赤のライン**から3センチカットを
アテンションカードにより、選手に要求できる。

まとめ【運営・審査員向け補足】

- 部門によっては、薬剤使用の有無は
痕跡・薬剤臭・質感などの客観的要素を総合して判断する。
- 推測や印象ではなく
確認事項に基づく判断を原則とする。
- 判断に迷う場合は
モデル審査員全員で審議する。